

2018年度

帯広市立つつじが丘小学校 研究部だより

NO. 1

# つつじ野

2018年5月1日発行

第1回目の全体研修の内容です。



## 今年度の研修がスタート

新年度がスタートして、一か月が過ぎようとしています。年度初めで業務に多忙を極める皆様のお時間をいただき、4月19日に第一回の全体研修を行いました。

今年度は、新たな研修をスタートさせる時期に当たります。先生方の意見をたくさんいただきながら、子どもたちの成長に結びつく実践となるように進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### つつじが丘小学校の子どもは？

研究部からの研究主題等の提案に先立ち、先生方から子どもたちの様子についてのご意見をいただき、交流をしました。“素直で明るく、言われた仕事などをまじめに行い、やわらかい感じ…”という良さを持っている反面、“自分から進んでやろうという意識やけじめ、仲間意識やコミュニケーション面で課題を感じる”との意見が複数出されました。

そのような実態を受けながら提案させていただいた“研究主題”、“目指す子供の姿”、“研究仮説”に、たくさんの貴重なご意見をいただきました。“子どもたちから多面的な考えを引き出し、さらに深めていくことができるような、指導者側の視点の大切さ”、“道徳の授業にとどまらず年間を通してどういう子どもに育てたいかという先生方の思い”、“発言しても大丈夫という安心感をどう育てるかという学級経営の大切さや他教科とのかかわり”等、私たちが研究を行う前提となるような事柄についても意見が出されました。

広い視野から子どもたちの成長を見つめている先生方の考えの一端を知ることができる場となったように思います。子どもたちの成長を願うのと同時に、私たち指導者側も成長や実践の深まりを実感できるような研修にしていきたいと思います！

### 主題が決まりました

#### 【研究主題】

心の変容をみとる道徳科授業の創造  
～道徳科授業&特別支援教育の基礎づくり～

#### 【目指す子どもの姿】

- ・自分の思いや考えをもち、主体的に表現できる子
- ・話し合い活動等を通して、自分の考えを確かなものとし、実践につなげようとする子

#### 【研究仮説】

仮説1：題材を通して、道徳的価値について多面的・多角的に考えられるような場面を設定することで、多様な価値観が引き出され、自己の考えを深めることができるであろう。

仮説2：自分の考えを整理できるような学習活動の場を設定することで、主体的に表現することができるようになるであろう。